

# キラリ☆加美っ子

## 学校教育目標

心豊かに とともに学び たくましく生きる児童の育成  
第4号 平成29年6月26日発行 景山 智子

## 立派にやりとげた 奈良・京都への修学旅行！



インタビュー後の記念撮影

6月1日と2日の1泊2日で、6年生が奈良・京都方面へ修学旅行に行きました。社会科で学んだ歴史や文化遺産を実際に自分の目で見る大事な学習です。分担して調べ学習をしました。集団行動のルールを守り、友だちと協力して行動しました。天気も良く、楽しい雰囲気です。小学校生活の思い出をつくることができました。

1日目の奈良では東大寺の大仏の大きさにびっくりしました。一人一人柱の穴をくぐっての記念撮影。夕方京都タワーに上って京都の町を一望しました。京都タワーでは、1回目の外国人へのインタビューを試みました。



清水の舞台から

2日目は6時に起き、朝食前に清水寺へ。平成の大改修中で舞台が半分の広さになっていましたが、学業・健康・恋愛に御利益があると言われる音羽の滝の水を選んで飲みました。その後二条城へ。うぐいす張りの廊下を歩き、大政奉還の様子を見学しました。外に出て、2回目のインタビューの時間もとれました。そして、金閣寺へ。3回目のインタビューに挑戦。回を重ねることに慣れてきて、積極的に好きな日本の食べ物などを聞くことができました。最後は太秦映画村の班別行動をしっかりと楽しみました。

自分たちの目で見、話を聞き、歴史や文化について学習することができた2日間でした。マナーを守り、みんなで協力し、修学旅行が無事に終わりました。6年生でのステキな思い出ができました。



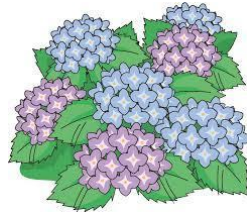
奈良 東大寺大仏殿の前にて

出発式や解散式での司会やあいさつ、移動時の先頭さん、旅館での部屋長、班行動の班長、バスレク係など、それぞれが責任を持って役割を果たし、6年生としての力を存分に発揮した2日間でした。



清水寺 音羽の滝

## 6月の行事から



### 水泳開始 6/1～

6月1日から水泳の授業が始まりました。今年はなかなか気温が上がらず、初めはふるえながらの水泳でしたが、だんだん気持ちの良い温度になり、それぞれの学年の目標をめざして、楽しみながら泳いでいます。めだかプロジェクトによる水泳指導員の宋先生や学校支援ボランティアとして古城先生、川田先生にお世話になり、専門的に指導していただいています。



### 日本の伝統文化を学ぶ学習 6/7～

今年度も伝統文化の先生方にお世話になり、加美小学校伝統となる学習が始まりました。尺八、日本舞踊、三味線、剣道、獅子舞を5・6年生が一から学びます。10月末の学習発表会では学習の成果を保護者や地域の皆さんに見ていただきます。難しい学習ですが、まじめに取り組むことでまたひとつ自信がつくのではないのでしょうか。礼に始まり礼に終わる日本の心についてももしっかり学んでほしいと思っています。

### 川の学習 6/13

毎年恒例の川の学習を行いました。アスエコから川博士の神田先生と毎年お世話になっている浦島さんに来ていただきました。皿川の水質検査、川に入って魚の追い方や石の裏に潜む生物の捕まえ方なども教えていただきました。はじめは「汚れるし、いやだなあ。」と言っていた子どもたちが、ぬれるのも汚れるのも気にせず楽しみました。危険もあるため、保護者をはじめ学校支援ボランティアの皆さんに班に一人ずつついていただき、楽しい学習となりました。



### 研究授業 6/15

4年生の国語の授業「走れ！」を授業改善の指導をしていただいている岡山大学の高旗浩志教授や町教育委員会の忠政指導主事にお越しいただき、全教員で研修を行いました。課題に真剣に取り組み、自分でしっかり考えたり、ペアで話し合いをしたり、自分の考えを発表したりと、頑張る姿を見せてくれました。難しい課題にも積極的に取り組む4年生の姿にまたひとつ成長を感じました。

### 演劇鑑賞 6/16

演劇鑑賞は本物を見て感性を育てる文化的行事です。今回は、あくろぱっとカンパニー「飛天」の皆さんによる『西遊記』を見ました。体育館全体が舞台となり、中央では華麗なアクロバットを見せていただきました。たった5人で一人何役もこなしながら、さらに音響や照明も。子どもたちは次にどんなことが起こるのかとワクワクしながら見ていました。仲間を信じることや協力することの大切さを教えてくれる劇でした。



# タフ時代を生きる子どもたちへの関わり方

現代社会の問題：中学・高校の中途退学、社会人の離職・不適應



原因① 人間関係を上手に築けない。コミュニケーションがうまくとれない。

原因② 裏付けのない自信をもっている。→失敗経験が少ない。→失敗するとすぐ折れる。弱い。

言われたことはする。言われないことはしない。←自分で考えて行動していない。

小学校時代に

やりたいことを最後まで

きちんとできる勤勉性の獲得が大切！

勤勉性とは

- \*ルールを守る
- \*いやな（面倒な）ことでも頑張れる。
- \*小さなことからコツコツ取り組める。

親（大人）が気をつけること

○手や口を出しすぎない。正しい選択ができるようになったら、自分で選択させる。

子どもが自分でする・自分で考える時間を大切に！

○努力の結果、「できた・あかった」という経験をさせる。周囲から認められる経験

○家庭は子どもがエネルギーをためる場所  
→貯まったエネルギーを学校で使う。人のために使う。→自信につながる！

○家庭は感情を受け止めてくれる場所  
子どもの感情を受け止めることができる親になる。

自分をコントロールできる子になる

ちょっと面倒なこと

失敗体験 は、  
子どもが成長する大切な機会

家庭は、子どもにとって  
無条件に愛される場所



美咲町人権教育推進協議会・美咲町青少年育成活動連絡会合同研修会  
中国心理診断センター 岡野一 泰洋さんの講演より